

令和5年度

大府市下水道事業経営戦略モニタリング報告書

目 次

1. 投資・財政計画についてのモニタリング.....	1
(1) 投資・財政計画の決算値と計画値の比較	
(2) 収益的収支について	
(3) 資本的収支について	
2. 経営指標の推移.....	5
3. 経営戦略の目標指標の状況.....	6
4. 総評.....	6

1. 投資・財政計画についてのモニタリング

(1) 投資・財政計画の決算値と計画値の比較

(単位：千円)

区 分		年 度	令和5年度 (決 算 値) A	令和5年度 (計 画 値) B	差引 (A - B)
収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益 (A)		900,613	891,398	9,215
		(1) 下 水 道 使 用 料	732,819	733,941	△ 1,122
		(2) 受 託 工 事 収 益 (B)	0	0	0
		(3) 雨 水 処 理 負 担 金	164,634	154,209	10,425
		(4) そ の 他	3,160	3,248	△ 88
	2. 営 業 外 収 益		1,257,002	989,242	267,760
		(1) 補 助 金	449,106	186,513	262,593
		他 会 計 補 助 金	449,106	186,513	262,593
		国 庫 補 助 金	0	0	0
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入	802,312	797,152	5,160
	(3) そ の 他		5,584	5,577	7
		収 入 計 (C)	2,157,615	1,880,640	276,975
収 益 的 支 出	1. 営 業 費 用		1,602,354	1,631,507	△ 29,153
		(1) 職 員 給 与 費	66,939	74,228	△ 7,289
		基 本 給	33,863	35,537	△ 1,674
		退 職 給 付 費	0	0	0
		そ の 他	33,076	38,691	△ 5,615
	(2) 経 費		487,876	517,829	△ 29,953
		動 力 費	4,211	7,909	△ 3,698
		修 繕 費	13,010	7,977	5,033
		委 託 料	80,126	85,216	△ 5,090
		流 域 下 水 道 維 持 金	350,973	369,235	△ 18,262
		そ の 他	39,556	47,492	△ 7,936
	(3) 減 価 償 却 費		1,047,539	1,039,450	8,089
	2. 営 業 外 費 用		161,810	160,900	910
		(1) 支 払 利 息	146,373	148,899	△ 2,526
		(2) そ の 他	15,437	12,001	3,436
		支 出 計 (D)	1,764,164	1,792,407	△ 28,243
	経 常 損 益 (C)-(D) (E)		393,451	88,233	305,218
	特 別 利 益 (F)		345	4	341
	特 別 損 失 (G)		339	546	△ 207
	特 別 損 益 (F)-(G) (H)		6	△ 542	548
	当 年 度 純 利 益 (又 は 純 損 失) (E)+(H)		393,457	87,691	305,766

(単位：千円)

年 度		令和5年度 (決算値) A	令和5年度 (計画値) B	差引 (A - B)
区 分				
資本的収入	1. 企 業 債	104,300	388,700	△ 284,400
	うち資本費平準化債	0	100,000	△ 100,000
	2. 他 会 計 出 資 金	167,742	611,799	△ 444,057
	3. 他 会 計 補 助 金	198,517	27,479	171,038
	4. 他 会 計 負 担 金	0	0	0
	5. 他 会 計 借 入 金	0	0	0
	6. 国(都道府県)補助金	25,300	128,000	△ 102,700
	7. 固定資産売却代金	0	1	△ 1
	8. 工 事 負 担 金	0	60,360	△ 60,360
	9. 受 益 者 負 担 金	34,483	8,084	26,399
	10. そ の 他	0	0	0
	計 (A)	530,342	1,224,423	△ 694,081
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)	24,300	0	24,300
	純計 (A)-(B) (C)	506,042	1,224,423	△ 718,381
資本的支出	1. 建 設 改 良 費	167,742	639,278	△ 471,536
	うち職員給与費	18,972	26,875	△ 7,903
	2. 企 業 債 償 還 金	874,518	874,518	0
	3. 他 会 計 長 期 借 入 返 還 金	0	0	0
	4. 他 会 計 へ の 支 出 金	0	0	0
	5. そ の 他	224	21,536	△ 21,312
計 (D)		1,042,484	1,535,332	△ 492,848
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)		536,442	310,909	225,533
補填財源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	56,799	0	56,799
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	479,165	0	479,165
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0
	4. そ の 他	478	310,909	△ 310,431
計 (F)		536,442	310,909	225,533
補填財源不足額 (E)-(F)		0	0	0
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)				0
企 業 債 残 高 (H)		8,296,119	8,623,119	△ 327,000

○他会計繰入金

年 度		令和5年度 (決算値)	令和5年度 (計画値)	差引 (A - B)
区 分				
収益的収支分		613,741	340,722	273,019
	うち基準内繰入金	285,702	261,771	23,931
	うち基準外繰入金	328,039	78,951	249,088
資本的収支分		366,259	639,278	△ 273,019
	うち基準内繰入金	12,833	27,479	△ 14,646
	うち基準外繰入金	353,426	611,799	△ 258,373
合 計		980,000	980,000	0

(2) 収益的収支について

【収益的収入】

- ・他会計補助金 262,593 千円

一般会計からの繰入金について、減価償却費等の経費に多く充てたため、当初見込んだ計画値より増額となった。

【収益的支出】

- ・営業費用-経費 △29,953 千円

流域下水道維持管理負担金について、当初見込んだ有収水量の伸び率より実際の伸び率が下回ったため、当初見込んだ計画値より減額となった。

(3) 資本的収支について

【資本的収入】

- ・ 企業債 △284,400 千円

工事費の繰越等により、建設改良費が当初見込んだ計画値より少なかったため、借入額も減額となった。

- ・ 他会計出資金 △444,057 千円

一般会計からの繰入金について、工事費の繰越等により、建設改良費が当初見込んだ計画値より少なかったため、減額となった。

- ・ 他会計補助金 171,038 千円

一般会計からの繰入金について、企業債償還金の経費に多く充てたため、当初見込んだ計画値より増額となった。

- ・ 国（都道府県）補助金 △102,700 千円

対象の工事費を繰越したため、当初見込んだ計画値より減額となった。

- ・ 工事負担金 △60,360 千円

対象の工事費を繰越したため、当初見込んだ計画値より減額となった。

- ・ 受益者負担金 26,399 千円

生産緑地の制限解除や宅地化等による受益者負担金の徴収猶予の取消が多かったため、当初見込んだ計画値より増額となった。

【資本的支出】

- ・ 建設改良費 △471,536 千円

工事費の繰越等により、当初見込んだ計画値より減額となった。

2. 経営指標の推移

経営指標	目指すべき 方向性	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収支比率	↑	105.78%	122.94%	124.17%	124.61%
累積欠損比率	↓	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
流動比率	↑	61.00%	63.22%	68.85%	84.24%
企業債残高対 事業規模比率	↓	1004.37%	1011.64%	860.84%	687.64%
経費回収率	↑	59.11%	59.15%	61.40%	64.94%
汚水処理原価	↓	150.00 円	150.00 円	150.00 円	150.00 円
水洗化率	↑	93.74%	93.84%	93.99%	93.98%

【経営指標の見方】

○経常収支比率

当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表した指標。

○累積欠損比率

営業収益に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填できず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと）の状況を表した指標。

○流動比率

短期的な債務に対する支払能力を表した指標。

○企業債残高対事業規模比率

使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表した指標。

○経費回収率

汚水処理に要する費用を、どの程度下水道使用料で賄えているかを表した指標。

○汚水処理原価

有収水量1 m³あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水維持管理費（管渠費、ポンプ場費、処理場費、その他）と汚水資本費（汚水に係る企業債利息及び減価償却費）の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標。

○水洗化率

処理区域内人口のうち、実際に下水道に接続して汚水処理している人口の割合を表した指標。

3. 経営戦略の目標指標の状況

目標指標	令和4年度末	令和5年度 (実績)	目 標 (令和15年度末)
基準外繰入金	6.1 億円	6.8 億円	0.6 億円
経費回収率	61.4%	64.9%	80.0%
水洗化率	94.0%	94.0%	96.0%

4. 総評

経営指標については、令和4年10月に1段階目の下水道使用料の改定を実施したことにより、「流動比率」や「経費回収率」の改善が見られました。令和7年4月の2段階目の改定により、今後さらに改善される見込みです。

また、「企業債残高対事業規模比率」についても、企業債の償還が進み、毎年度、償還額を超えない範囲での借入を継続しているため、年々改善しています。

全体として、経営指標は、前年度と比較し、ほぼすべての指標において改善され、健全な経営が行われています。経営指標は、事業の経営状況を判断する上で重要な指標となることから、今後もその動向に注視します。

また、経営戦略の目標指標である「基準外繰入金」については、前年度と比較すると増加しましたが、経営戦略の計画値からは減少しています。

今後も限られた財源を有効に活用するとともに、企業債残高の減少、国庫補助対象事業の精査による財源の確保や、ストックマネジメント計画により平準化された費用の見直し等を通じて経費を削減することで、下水道事業の経営健全化に努めます。